

# オーストラリア金融政策（2021年3月）

足元で金利は急上昇も国債等の基本的な買い入れ方針は変更せず

2021年3月2日

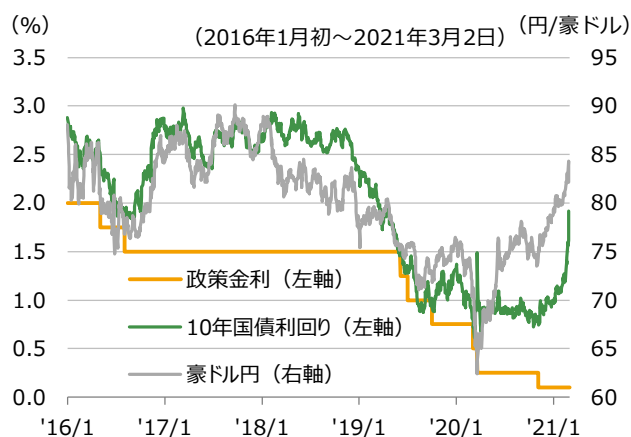
## 中期的には長期金利の上昇が豪ドルの追い風に

RBA（オーストラリア準備銀行）は3月2日（現地、以下同様）、市場予想通り政策金利と3年国債利回りの誘導目標をいずれも0.1%で据え置くことを発表しました。

足元の急ピッチな金利上昇に対して、RBAは3月1日に量的緩和政策で通常の2倍となる40億豪ドルの国債を買い入れていました（量的緩和による買い入れペースは週50億豪ドルで、その内訳は、月曜に国債を20億豪ドル、水曜に準政府債を10億豪ドル、木曜に国債を20億豪ドル）。そのため、市場参加者の間では、今会合の声明文で量的緩和による国債等の買い入れ方針を変更し、金利上昇をけん制する姿勢を明確化させるとの思惑が強まっていました。しかし、RBAは、1日の買い入れ増額は市場の円滑な機能を支援するためだったと説明し、基本的な買い入れ方針は変更しませんでした。市場は、RBAが金利上昇をさほど懸念している訳ではないと受け止め、発表後に償還まで3年を超える国債の利回りはやや上昇しました。

もっとも、RBAは市場環境に応じて買い入れ方針を調整する準備はあるとも明言しており、こうした対応は債券市場のボラティリティを低下させる効果があると考えられます。短期的に金利がどの水準で落ち着くかは、米国金利の動向次第だと言わざるを得ませんが、RBAの柔軟な対応によりオーストラリアの金利だけが上昇を続ける可能性は低そうです。一方、中期的に見た場合には、景気回復ならびに金融政策の正常化期待に沿って長期金利は徐々に水準を切り上げていくことが想定されます。そのため、金利差の観点から豪ドル円には上昇圧力がかかりやすいと考えています。

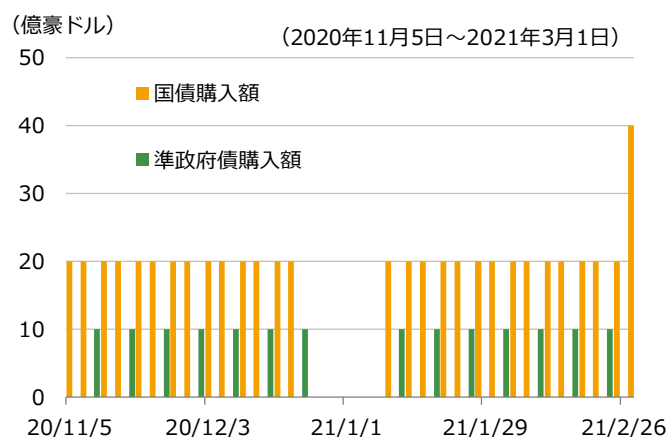
### オーストラリアの金利と為替



※政策金利は決定日ベース  
 ※10年国債利回りと豪ドル円は2021年3月1日までのデータ

(出所) ブルームバーグ

### RBAの量的緩和による国債・準政府債購入額



※RBAは上記のほかにもイールドカーブ・コントロールを目的として国債等を購入している

(出所) RBAより大和アセット作成

### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。